

< ラテン文学語釈語法研究 >

羅英対訳  
詳註 『変身物語』を読む (Ⅲ-2)

鈴木 利久

ラテン語では主語の代名詞は示されないことが多い。主語は動詞の活用変化によって表現されるからだ。本書では、このような動詞に「主述部」(主語を内包した述部)と註釈して、動詞の変化によって主語が示されていることを表わし、更に隠れた主語を挙げることにしている。その「隠れた主語」に該当する語は10行以上離れていることも珍しくないもので、それに対応する心構えが肝腎だ。典型的な例を引いてみる。

Dixit et ad faciem rediit male sanus eandem  
et lacrimis turbavit aquas, (474-475)

これは美少年ナルキッススが満されない愛を嘆いた後で再び泉に戻る場面の描写だが、この Dixit (= said) / rediit (= returned) / turbavit (= disturbed) が件の「主述部」である。そこで、この部分を逐語的に英訳すると次のようになる。

(He) said and returned, scarcely sane, to <the> same shape  
and disturbed <the> water (with) <his> tears,

括弧内に示した He が即ち「隠れた主語」で、それが指す語を突き止めるべく、「下から上へ、後から前へ」読んでいくと、30行以上も隔たった illum (= him: 437-2・5) に辿り着くといった手順である。

ただ、30行離れていようが、50行隔たっていようが、この営みは読み違えないように注意しながら戻って行くだけだからさして困難ではない。必要なのは多少の「汗」だけだ。手強いのは、一見主語が示されているように見えながら、実はさにあらずという場合である。恰好の例を示そう。

Ecce cruentati redeunt et, Bacchus ubi esset,  
quaerenti domino Bacchum vidisse negarunt; (572-573)

この件は、バックス神を捕えるべくペンテウス王が送り出した家来たちが戻った場面の冒頭である。ここでは *redeunt* (= *return*) が (実は)「主述部」なのだが、動詞 *cruento* (= *bloodstain*) の完了分詞 *cruentati* (男性複数主格) が直前に置かれているので、厄介だ。こうなると「汗」を流すだけでは済まされない。

完了分詞は英語の過去分詞に相当するので、*cruentati* は「血に塗れた」の謂になる。ラテン語では、形容詞や完了分詞が名詞化して主語や目的語として用いられることは日常茶飯事だから、ここもその伝で *cruentati* が主語に違いないと思ってしまう。「血に塗れた (人々) が戻る」と解釈して納得してしまうのである。落とし穴とはまさにこのことだ。「血に塗れた (人々)」とは一体誰のことなのかとはなかなか思い至らない。つまり、問題が問題として認識されないわけで、翻訳を参照して意味を確認するという手続きもつい怠ってしまうことになる。

このような場合、問題発見の鍵は *cruentati* は名詞的用法ではなく、本来の完了分詞として用いられているのではないかと考え直すことなのだが、これがまた至難の業だ。何故なら、そうなると、この *cruentati* が修飾する語がなければならないが、それが見当らないからである。加えて、この部分は新しい段落の書き出しなので *redeunt* が「主述部」だとは先ず考えない。

問題の在処に気づくきっかけは文脈である。四回、五回と全体を繰り返し読み通していると、全体と部分との関係が鮮明になってくる。謂わば、木と森との位置関係がはっきり浮かび上がってくるのである。するとこの段落冒頭の「血に塗れた (人々)」の唐突さが意識される。

それと気づけば、問題は殆ど解決したも同然と言って良い。*cruentati* は主語ではなく、完了分詞の叙述的用法 — 分詞構文 — で、*redeunt* の方が「主述部」ではないかという見方ができるようになるのである。そこで、例によって「隠れた主語」を探して逆さ読みをすると10行ほど遡った562-3 *famulis* (= *his* followers) に至ることになる。更に翻訳で確認すると、「部下たちは、血に塗れて帰って来る」となっているので、一件落着。これを英語で表現したのが次の訳である。

Behold, (they) return bloodstained and denied (to have) seen Bacchus,  
(to) <their> master inquiring where Bacchus (would) be;

上の例は「隠れた主語」が指す語がかなり離れている場合だが、それがすぐ上の行にある語でもちょっと油断すると読み違いをしてしまうので、いつも感覚を研ぎ澄ませていなくてはならない。次にその例を紹介したい。

ut fremit acer equus, cum bellicus aere canoro  
signa dedit tubicen pugnaeque adsumit amorem, (704–705)

これはバックス信者たちの叫び声によってペンテウスの怒りが掻き立てられる有様を逸る軍馬

に擬えて描いた叙述の始めの部分である。この一節も一見何の問題もないように思われる。即ち、ここは単純な副詞節で *tubicen* (= *bugler*) という主格の名詞があるのだから、これが *dedit* (= *gave*) 及び *adsumit* (= *acquires*) の主語に違いないと定跡どおりに考えてしまうのである。逆に言えば *adsumit* が「主述部」だなどとは思ってもよらず、次のように解釈して事足りりとしてしまうことになる。

As <an> ardent steed roars, when <a> belligerent bugler gave  
signs (with) <his> melodious trumpet and acquires passion (for) <a> battle,

しかし、何度も読み返しているうちに、「喇叭手が戦への熱情を獲得する」というのは如何にも奇妙ではないかという疑問が湧いてきた。それで謎解きが始まったのだが、告白すると、最初は逆の方向へ進んでしまった。*adsumit* にはもっと文脈に合う — 例えば「掻き立てる (*arouse*)」というような — 語義があるのではないかと考えて、色々な辞書の定義と用例とを蝨潰しに追って行ったのである。これは徒労に終わった。

ただこの試みは全く無意味ではなかった。こちらに都合の良い語義は遂に見つからなかったが、羅英辞典の中で最も大部な *Oxford Latin Dictionary* が「獲得する」という語義の用例として、この箇所を引いていることを発見したのである。これで *adsumit* への疑いは一先ず晴れたが、「喇叭手」と「熱情」との関係は依然としてすっきりしない。

悶々としている時、一瞬の閃きが走った。定跡からは外れるが、*adsumit* は「主述部」で、「隠れた主語」が指すのは *equus* (= *steed*) ではないのかと思いついたのである。このように読めば「戦への熱情を獲得する」のは「軍馬」の方になり、描かれている状況は一変する。これは大変な妙手だと、思わず手を打った次第。結局、当該の一節は次のように英訳されることになる。

As <an> ardent steed roars, when <a> belligerent bugler gave  
signs (with) <his> melodious trumpet and (it) acquires passion (for) <a> battle,

幾つかの翻訳で確認したところ、いずれも同様に解釈していることが判り、安堵の溜息を吐いた。最初から翻訳に当たっていればこんな「涙」を流すこともないが、それでは苦吟しながら霧の中を進んだ末に、突然視界が開けるような悦びは喪われてしまう。

ille dolore ferox caput in sua terga retorsit  
 vulneraque adspexit fixumque hastile momordit,  
 idque ubi vi multa partem labefecit in omnem,  
 vix tergo eripuit ; ferrum tamen ossibus haesit.  
 tum vero postquam solitas accessit ad iras  
 causa recens, plenis tumuerunt guttura venis,  
 spumaque pestiferos circumfluit albida rictus,

70

## 68

- 1 ille [代] 「あれ、それ；彼(彼女)」(男性単数主格) 62-4 *serpens* を指す。68-8/69-2・5 *retorsit, adspexit, momordit* の主語。
- 2 *dolore* < [名] m. 「苦痛；悲しみ、嘆き；憤り」(単数奪格) 68-5 *in* と共に 68-8 *retorsit* を修飾。
- 3 *ferox* < *ferox* [形] 「大胆な、勇敢な；凶暴な」(中性単数対格) 68-4 *caput* を修飾。
- 4 *caput* < *caput* [名] n. 「頭；頂上」(単数対格) 68-8 *retorsit* の目的語。
- 5 *in* 67-5 参照。対格支配(68-7 *terga*)。
- 6 *sua* < *suus* [代] 「彼(ら)の、彼女(ら)の、それ(ら)の」(中性複数対格) 68-7 *terga* を修飾。
- 7 *terga* < *tergum* [名] n. 「背中；背後」(複数対格)
- 8 *retorsit* < *retorqueo* [動] 「振り向ける」(直説法能相三人称単数完了過去)

## 69

- 1 *vulneraque* (= *vulnera* + *que*) < *vulnus* [名] n. 「傷；打撃；損害、災難」(複数対格) 69-2 *adspexit* の目的語。
- 2 *adspexit* < *adspicio* [動] 「見る；観察する；考慮する」(直説法能相三人称単数完了過去)
- 3 *fixumque* (= *fixum* + *que*) 66-6 参照(中性単数対格)。69-4 *hastile* を修飾。
- 4 *hastile* < *hastile* [名] n. 「槍の柄；槍」(単数対格) 69-5 *momordit* の目的語。
- 5 *momordit* < *mordeo* [動] 「噛みつく；消

耗させる；傷つける」(直説法能相三人称単数完了過去)

## 70

- 1 *idque* (= *id* + *que*) < *is* [代] 「この人(これ)、彼(彼女)」(中性単数対格) 69-4 *hastile* を指す。70-6 *labefecit* の目的語。
- 2 *ubi* [関副] 「～する場所；～する時」
- 3 *vi* < *vis* [名] f. 「力；活力；暴力」(単数奪格) 70-7 *in* と共に 70-6 *labefecit* を修飾。
- 4 *multa* < *multus* [形] 「多数の；多量の」(女性単数奪格) 70-3 *vi* を修飾。
- 5 *partem* < *pars* [名] f. 「部分、一部；役割」(単数対格)
- 6 *labefecit* < *labefacio* [動] 「揺する；倒す、壊す」(直説法能相三人称単数完了過去) 71-3 *eripuit* と共に主述部。68-1 *ille* を受ける。
- 7 *in* 67-5 参照。対格支配(70-5 *partem*)。\**partem in omnem* = *in all directions*
- 8 *omnem* < *omnis* [形] 「全ての、あらゆる」(女性単数対格) 70-5 *partem* を修飾。

(With) <the> pain it twisted <its> ferocious head towards its back  
and observed <the> wound and bit <the> fixed shaft,  
and when (with) much vigour (it) shook that in all directions,  
barely (it) plucked <that> (from) <its> back; however <the> spearhead clung  
(in) <its> bone.  
Then verily, when <the> recent cause joined to  
<its> customary rage, <its> throat swells (with) plenished veins,  
and whitish spume overflows <its> pestilent jaws,

71

- 1 vix [副]「辛うじて、何とか」71-2 tergo と共に 71-3 eripuit を修飾。
- 2 tergo<tergum 68-7 参照(単数奪格)。\*分離を表す奪格。
- 3 eripuit<eripio [動]「剥ぎ取る；救助する」(直説法能相三人称単数完了過去)
- 4 ferrum 67-7 参照。71-7 haesit の主語。
- 5 tamen [副]「しかし、にも拘らず」
- 6 ossibus<os [名] n.「骨；骨髄」(複数奪格) 71-7 haesit を修飾。
- 7 haesit<haereo [動]「付着する；執着する；困惑する」(直説法能相三人称単数完了過去)

72

- 1 tum [副]「当時；現在；次に、その後」72-2 vero と共に 72-5 accessit を修飾。
- 2 vero [副]「実際、確かに」
- 3 postquam [接]「～した後、～した時」
- 4 solitas<solitus [形]「慣れた、通常の」(女性複数対格) 72-7 iras を修飾。  
\*soleo の完了分詞。
- 5 accessit<accedo [動]「近寄る；加わる」(直説法能相三人称単数完了過去)
- 6 ad [前]「～(の方)へ；～に対して(向かって)」対格支配(72-7 iras)。72-5 accessit を修飾。
- 7 iras<ira [名] f.「憤怒」(複数対格)

73

- 1 causa [名] f.「原因、理由」(単数主格) 72-5 accessit の主語。
- 2 recens [形]「最近の、新鮮な、若い」

(女性単数主格) 73-1 causa を修飾。

- 3 plenis<plenus [形]「満ちた；満ち足りた；豊富な」(女性複数奪格) 73-6 venis を修飾。\*独立奪格構文とも考えられる。
- 4 tumuerunt<tumescio [動]「膨れる；興奮する」(直説法能相三人称単数完了過去)
- 5 guttura<guttur [名] n.「喉」(複数主格) 73-4 tumuerunt の主語。
- 6 venis<vena [名] f.「血管；脈；気質」(複数奪格) 73-4 tumuerunt を修飾。

74

- 1 spumaque (= spuma + que) [名] f.「泡」(単数主格) 74-3 circumfluit の主語。
- 2 pestiferos<pestifer [形]「破壊的な、有害な」(男性複数対格) 74-5 rictus を修飾。
- 3 circumfluit<circumfluo [動]「周囲を流れる；溢れる」(直説法能相三人称単数現在) \*再び歴史的現在が多用される。
- 4 albida<albidus [形]「白っぽい、白い」(女性単数主格) 74-1 spuma を修飾。
- 5 rictus<rictus [名] m.「大きな口」(複数対格) 74-3 circumfluit の目的語。

terraque rasa sonat squamis, quique halitus exit ore niger Stygio, vitiatas inficit auras. ipse modo immensum spiris facientibus orbem cingitur, interdum longa trabe rectior adstat, inpete nunc vasto ceu concitus imbribus amnis fertur et obstantis proturbat pectore silvas. cedit Agenorides paulum spolioque leonis	75       80
--	----------------------------------

## 75

- 1 terraque (= terra + que) [名] f.「大地、陸地」(単数主格) 75-3 sonat の主語。
- 2 rasa < rado [動] 「引掻く、擦る」完了分詞(女性単数主格)。75-1 terra を修飾。
- 3 sonat < sono [動] 「音を立てる；語る」(直説法能相三人称単数現在)
- 4 squamis < squama [名] f.「鱗；(鎧の)小札」(複数奪格) 75-2 rasa を修飾。
- 5 quique (= qui + que) [関代] 男性単数主格。先行詞は 75-6 halitus。75-7 exit の主語。
- 6 halitus [名] m.「呼吸、蒸気」(単数主格) 76-5 inficit の主語。
- 7 exit < exeo [動] 「出る、去る」(直説法三人称単数現在)

## 76

- 1 ore < os [名] n.「口；顔」(単数奪格) 75-7 exit を修飾。
- 2 niger [形] 「黒い、暗い；陰鬱な」(男性単数主格) 75-6 halitus を修飾。
- 3 Stygio < Stygius [形] 「ステュクスの、冥界の」(中性単数奪格) 76-1 ore を修飾。  
☆ステュクス(Styx)は冥界を流れる川で、その河神はオケアヌスとテテュスの長女。この川の流れにかけた誓いは、神々でも破ることを許されなかった(290-291行参照)。
- 4 vitiatas < vitio [動] 「傷つける、損なう、汚す」完了分詞(女性複数対格)。76-6 auras を修飾。\*Prolepsis(予期的叙述法)表現。

- 5 inficit < inficio [動] 「染める；穢す、汚染する」(直説法能相三人称単数現在)
- 6 auras < aura [名] f.「息吹、風；大気」(複数対格) 76-5 inficit の目的語。

## 77

- 1 ipse [代] 「～自身」(男性単数主格) 68-1 ille を指す。叙述的用法。
- 2 modo [副] 「ただ；今、最近；すぐ」77-4 spiris と共に 78-1 cingitur を修飾。  
\*78-2/79-2 interdum, nunc と呼応する。
- 3 immensum < immensus [形] 「果てしない、莫大な」(男性単数対格) 77-6 orbem を修飾。
- 4 spiris < spira [名] f.「螺旋」(複数奪格)
- 5 facientibus < facio [動] 「建設する；為す；製造(製作)する」現在分詞(女性複数奪格)。77-4 spiris を修飾。
- 6 orbem < orbis [名] m.「円、輪；世界、宇宙；国、地域」(単数対格) 77-5 facientibus の目的語。\*41-5 参照。

**and <the> earth rubbed (by) <its> scales resounds, and <the> black breath which comes (from) <its> Stygian mouth infects <the> vitiated air.**

**Now (the serpent) itself (is) encircled (by) spirals forming <an> immense circle; sometimes towers straighter (than) <a> long timber;**

**now (is) borne (with) vast impetus like <a> river swollen**

**(by) <a> deluge, and prostrates <the> obstructing forests (with) <its> breast.**

**Agenor's son recedes slightly and (with) <his> lion's skin**

78

- 1 cingitur<cingo [動]「取り巻く、囲む；締める」(直説法所相三人称単数現在) 主述部。68-1 ille を受ける。＊以下の adstat, fertur, proturbat も同断。
- 2 interdum [副]「時々、時折」78-6 adstat を修飾。
- 3 longa<longus [形]「長い；遠い」(女性単数奪格) 78-4 trabe を修飾。
- 4 trabe<trabs [名] f.「木材；木；船」(単数奪格) 78-5 rector を修飾。
- 5 rector<rectus [形]「まっすぐな、直立した；適正な」比較級(男性単数主格)。68-1 ille に一致。叙述的用法。
- 6 adstat<adsto [動]「側に立つ；直立する；居る」(直説法能相三人称単数現在)

79

- 1 inpete<inpetus [名] m.「攻撃；衝動、推進力」(単数奪格) 79-2 nunc と共に 80-1 fertur を修飾。
- 2 nunc [副]「目下；現状では」
- 3 vasto<vastus [形]「空虚な；莫大な；荒涼とした」(男性単数奪格) 79-1 inpete を修飾。
- 4 ceu [副]「(丁度)～のように」
- 5 concitus<concio [動]「集める；揺り動かす；刺激する」完了分詞(男性単数主格)。79-7 amnis を修飾。
- 6 imbribus<imber [名] m.「雨、豪雨；雨雲」(複数奪格) 79-5 concitus を修飾。
- 7 amnis [名] m.「川；奔流；河神」(単数主格)

80

- 1 fertur<fero [動]「支える、運ぶ；もたらす；堪える」(直説法所相三人称単数現在)
- 2 et [接]「そして、また」
- 3 obstantis (= obstantes)<obsto [動]「邪魔する、妨害する」現在分詞(女性複数対格)。80-6 silvas を修飾。
- 4 proturbat<proturbo [動]「追い立てる；撃退する」(直説法能相三人称単数現在) ＊「なぎ倒す」の謂。
- 5 pectore<pectus [名] n.「胸；心」(単数奪格) 80-4 proturbat を修飾。
- 6 silvas<silva [名] f.「森、森林地帯」(複数対格) 80-4 proturbat の目的語。

81

- 1 cedit<cedo [動]「引き下がる；～の所有となる；～に譲る；～に従う」(直説法能相三人称単数現在)
- 2 Agenorides [名] m.「アゲノルの息子(子孫)；〈複〉テーバエ人」(単数主格) 81-1/ 82-1・5 cedit, sustinet, retardat の主語。＊51-6・7 Agenore natus を指す。
- 3 paulum [副]「少し、幾分」 81-1 cedit を修飾。
- 4 spolioque (= spolio + que)<spolium [名] n.「(獣の)皮膚；〈複〉戦利品」(単数奪格) ＊毛皮の被い(52-3)を意味する。
- 5 leonis<leo [名] m.「ライオン；獅子座」(単数属格) 81-4 spolio を修飾。

sustinet incursus instantiaque ora retardat  
 cuspide praetenta : furit ille et inania duro  
 vulnera dat ferro figitque in acumine dentes.  
 iamque venenifero sanguis manare palato  
 coeperat et virides adspergine tinxerat herbas ;  
 sed leve vulnus erat, quia se retrahebat ab ictu  
 laesaque colla dabat retro plagamque sedere

85

82

- 1 sustinet<sustineo [動]「支える；抑止する；堪える」(直説法能相三人称単数現在)
- 2 incursus<incursus [名] m.「突進；攻撃」(複数対格) 82-1 sustinet の目的語。
- 3 instantiaque (= instantia + que)<insto [動]「近づく；悩ます；迫る」現在分詞(中性複数対格)。82-4 ora を修飾。
- 4 ora<os [名] n.「口；顔」(複数対格) 82-5 retardat の目的語。
- 5 retardat<retardo [動]「抑止する、妨げる」(直説法能相三人称単数現在)

83

- 1 cuspide<cuspis [名] f.「端、先；槍」(単数奪格) 83-2 praetenta と共に独立奪格構文を成す。\*cuspide praetenta = (with) <his> spear presented : i.e. presenting his spear
- 2 praetenta<praetendo [動]「差し出す」完了分詞(女性単数奪格)。
- 3 furit<furo [動]「怒り狂う」(直説法能相三人称単数現在)
- 4 ille [代]「あれ、それ；彼(彼女)」(男性単数主格) 62-4 serpens を指す。83-3/84-2・4 furit, dat, figit の主語。
- 5 et [接]「そして、また」
- 6 inania<inanis [形]「空の；～のない；無益な」(中性複数対格) 84-1 vulnera を修飾。
- 7 duro<durus [形]「硬い；粗野な；厳しい」(中性単数与格) 84-3 ferro を修飾。

84

- 1 vulnera<vulnus [名] n.「傷；打撃；損害、災難」(複数対格) 84-2 dat の目的語。
- 2 dat<do [動]「与える、為す；認める」(直説法能相三人称単数現在)
- 3 ferro<ferrum [名] n.「鉄、鉄器；劍」(単数与格) 84-2 dat の間接目的語。
- 4 figitque (= figit + que)<figo [動]「固定する、据える；貫く」(直説法能相三人称単数現在)
- 5 in [前]「～で(に)、～の中(上)で」奪格支配(84-6 acumine)。84-4 figit を修飾。
- 6 acumine<acumen [名] n.「尖端；鋭さ」(単数奪格)
- 7 dentes<dens [名] m.「歯」(複数対格) 84-4 figit の目的語。

85

- 1 iamque (= iam + que) [副]「今；直前に；すぐ；既に」86-1 coeperat を修飾。
- 2 venenifero<venenifer [形]「毒のある」(中性単数奪格) 85-5 palato を修飾。
- 3 sanguis [名] m.「血；血統」(単数主格) 86-1・5 coeperat, tinxerat の主語。
- 4 manare<mano [動]「流れる、滴る」(不定法能相現在) 86-1 coeperat の目的語。
- 5 palato<palatum [名] n.「口蓋；好み」(単数奪格) 85-4 manare を修飾。  
\*manare palato = (to) trickle (from) <its> palate



sustains <the> onsets and retards <the> impending jaws  
 (with) <his> spear presented: it rages and gives <the> hard  
 spearhead ineffective damages and fixes <its> teeth on <the> pike.  
 And now blood began (to) trickle (from) <its> venomous  
 palate and stained <the> verdant herbage (with) <the> drops;  
 but slight was <its> wound, because (it) withdrew itself from <his> stroke  
 and set <the> injured neck rearwards and (by) receding impeded

86

- 1 coeperat <coepio [動]「始める；始まる」  
 (直説法能相三人称単数全分過去)\*完了  
 系時称(完了過去・全分過去・未来完了)  
 でのみ用いられ、意味はそれぞれ現在・  
 過去・未来となる。
- 2 et 83-5 参照。
- 3 virides <viridis [形]「緑の；新鮮な、元  
 気な」(女性複数対格) 86-6 herbas を修  
 飾。
- 4 adspergine <adsperso [名] f.「散布；滴」  
 (単数奪格) 86-5 tinxerat を修飾。
- 5 tinxerat <tingo [動]「濡らす、浸す；染  
 める」(直説法能相三人称単数全分過去)
- 6 herbas <herba [名] f.「草、牧草」(複数  
 対格) 86-5 tinxerat の目的語。

87

- 1 sed [接]「しかし；～ではなくて」
- 2 leve <levis [形]「軽い；素早い；些細な」  
 (中性単数主格) 87-3 vulnus に一致。  
 87-4 erat の補語。
- 3 vulnus 84-1 参照(単数主格)。87-4 erat  
 の主語。
- 4 erat <sum [動]「～である；存在する」  
 (直説法三人称単数不完了過去)
- 5 quia [接]「何故なら」
- 6 se <sui [代]「彼(彼女、それ)自身」(単数  
 対格) 83-4 ille を指す。87-7 retrahebat  
 の目的語。
- 7 retrahebat <retraho [動]「引っ込める、  
 退かせる」(直説法能相三人称単数不完  
 了過去) 88-3/ 89-2-6 dabat, arcebat,

sinebat と共に主述部。83-4 ille を受  
 ける。

- 8 ab [前]「～(の中)から；～側に；～で」  
 奪格支配(87-9 ictu)。87-7 retrahebat を  
 修飾。
- 9 ictu <ictus [名] m.「一撃、一刺し、傷」  
 (単数奪格)

88

- 1 laesaque (= laesa + que) <laedo [動]「傷  
 つける；悩ます、苦しめる」完了分詞  
 (中性複数対格)。88-2 colla を修飾。
- 2 colla <collum [名] n.「首」(複数対格) 88-3  
 dabat の目的語。
- 3 dabat <do [動]「与える、為す；認める」  
 (直説法能相三人称単数不完了過去)  
 \*「置く」の謂。
- 4 retro [副]「後方へ；後方で」88-3 dabat  
 を修飾。
- 5 plagamque (= plagam + que) <plaga  
 [名] f.「一撃、傷；衝撃」(単数対格) 88-6  
 sedere の意味上の主語。
- 6 sedere <sedeo [動]「座る；存在する」  
 (不定法能相現在) 89-2 arcebat の目的  
 語。\*「突き刺さる」の謂。

cedendo arcebat nec longius ire sinebat,  
 donec Agenorides coniectum in guttura ferrum 90  
 usque sequens pressit, dum retro quercus eunti  
 obstitit et fixa est pariter cum robore cervix.  
 pondere serpentis curvata est arbor et ima  
 parte flagellari gemuit sua robora caudae.  
 Dum spatium victor victi considerat hostis, 95  
 vox subito audita est; neque erat cognoscere promptum,

## 89

- 1 cedendo < cedo [動] 「引き下がる; ~の所有となる; ~に譲る; ~に従う」動名詞(奪格)。89-2 arcebat を修飾。
- 2 arcebat < arceo [動] 「閉じ込める; 抑止する」(直説法能相三人称単数不完了過去)
- 3 nec (= neque) [接] 「また~ない、~もない」
- 4 longius < longe [副] 「遠くに; 長く」比較級。89-5 ire を修飾。\*「深く」の謂。
- 5 ire < eo [動] 「行く、進む」(不定法現在) 89-6 sinebat の目的語。
- 6 sinebat < sino [動] 「許す、容認する」(直説法能相三人称単数不完了過去)

## 90

- 1 donec [接] 「~まで; ~する間」
- 2 Agenorides [名] m. 「アゲノルの息子(子孫); 〈複〉テーバエ人」(単数主格) 91-3 pressit の主語。
- 3 coniectum < conicio [動] 「推察する; 投げる; 向ける、推進する」完了分詞(中性単数対格)。90-6 ferrum を修飾。
- 4 in [前] 「~(の中)へ、~に対して」対格支配(90-5 guttura)。91-3 pressit を修飾。
- 5 guttura < guttur [名] n. 「喉」(複数対格)
- 6 ferrum < ferrum [名] n. 「鉄、鉄器; 剣」(単数対格) 91-3 pressit の目的語。

## 91

- 1 usque [副] 「ずっと、続けて; はるばる」 91-2 sequens を修飾。
- 2 sequens < sequor [所動] 「後を追う; 後

を継ぐ; 従う」現在分詞(男性単数主格)。

90-2 Agenorides に一致。叙述的用法。

- 3 pressit < premo [動] 「押える; (~に)位置する; (荷を)負わせる; 強要する」(直説法能相三人称単数完了過去)
- 4 dum [接] 「~する間に(間は); ~まで」
- 5 retro [副] 「後方へ; 後方で」 91-7 eunti を修飾。
- 6 quercus [名] f. 「樅; 樅の葉冠」(単数主格) 92-1 obstitit の主語。
- 7 eunti < eo [動] 「行く、進む」現在分詞(男性単数与格)。名詞的用法。92-1 obstitit の補語。\*89-1 cedendo を受ける。

## 92

- 1 obstitit < obsto [動] 「邪魔する、妨害する」(直説法能相三人称単数完了過去) \*与格を伴う。
- 2 et [接] 「そして、また」
- 3・4 fixa est < figo [動] 「固定する、据える; 貫く」(直説法所相三人称単数完了過去)
- 5 pariter [副] 「等しく; 同時に」 92-6 cum と共に 92-3・4 fixa est を修飾。\*pariter cum robore = together with <the> oak
- 6 cum [前] 「~と共に; ~を伴って; ~で」奪格支配(92-7 robore)。
- 7 robore < robur [名] n. 「樅材、樅; 幹; 堅固さ」(単数奪格)
- 8 cervix [名] f. 「首」(単数主格) 92-3・4 fixa est の主語。

<his> thrusts (to) stick and never allowed (to) go deeper,  
 until Agenor's son, following continuously, pressed <a> hurled  
 spearhead into <its> throat; till <an> oak obstructed (the one) going  
 rearwards and <its> neck was fixed together with <the> trunk.  
 (By) <the> serpent's ponderosity, <the> tree was curved and groaned  
 (to get) its trunk lashed (by) <the> lowest part (of) <its> tail.  
 While <the> victor examined <the> size (of) <the> defeated enemy,  
 <a> voice was suddenly heard; never was (it) easy (to) recognise

## 93

- 1 pondere<pondus [名] n.「重量；重荷」  
 (単数奪格) 93-3・4 curvata est を修飾。
- 2 serpentis<serpens [名] m.f.「蛇；蛇座」  
 (単数属格) 93-1 pondere を修飾。
- 3・4 curvata est<curvo [動]「曲げる」(直説  
 法所相三人称単数完了過去)
- 5 arbor [名] f.「木」(単数主格) 93-3・4/ 94-3  
 curvata est, gemuit の主語。
- 6 et 92-2 参照。
- 7 ima<imus [形]「最も深い(低い)；(名)  
 底、深淵」(女性単数奪格) 94-6 caudae  
 と共に 94-1 parte を修飾。\*ima parte  
 caudae = (by) <the> lowest part (of)  
 <its> tail : i.e. by the end of its tail

## 94

- 1 parte<pars [名] f.「部分、一部；役割」  
 (単数奪格) 94-2 flagellari を修飾。
- 2 flagellari<flagello [動]「鞭打つ」(不定  
 法所相現在) 94-3 gemuit の目的語。
- 3 gemuit<gemo [動]「溜息をつく、呻く、  
 悲しむ」(直説法能相三人称単数完了過  
 去) \*不定法句を伴う。
- 4 sua<suus [代]「彼(ら)の、彼女(ら)の、  
 それ(ら)の」(中性複数対格) 93-5 arbor  
 を指す。94-5 robora を修飾。
- 5 robora<robur 92-7 参照(複数対格)。  
 94-2 flagellari の意味上の主語。
- 6 caudae<cauda [名] f.「尻尾」(単数属格)

## 95

- 1 Dum 91-4 参照。
- 2 spatium<spatium [名] n.「空間；距離；

規模」(単数対格) 95-5 considerat の目  
 的語。

- 3 victor [名] m.「征服者、勝者」(単数主格)  
 95-5 considerat の主語。\*90-2  
 Agenorides を指す。
- 4 victi<vinco [動]「打ち破る、勝つ」  
 完了分詞(男性単数属格)。95-6 hostis を  
 修飾。
- 5 considerat<considero [動]「注視する、  
 検査する；熟考する」(直説法能相三人称  
 単数現在)
- 6 hostis<hostis [名] m.f.「見知らぬ人；  
 敵」(単数属格) 95-2 spatium を修飾。  
 \*93-2 serpentis を指す。

## 96

- 1 vox [名] f.「声、音；言葉、発言」(単数  
 主格) 96-3・4 audita est の主語。
- 2 subito [副]「突然、即座に」96-3・4  
 audita est を修飾。
- 3・4 audita est<audio [動]「聞く；聞き入  
 れる」(直説法所相三人称単数完了過去)
- 5 neque (= nec) [副]「また～ない、～も  
 ない」96-6 erat を修飾。
- 6 erat<sum [動]「～である；存在する」  
 (直説法三人称単数不完了過去) 非人称  
 的構文。不定法を主語に取る。\*erat  
 cognoscere promptum unde = (it) was  
 easy (to) recognise whence
- 7 cognoscere<cognosco [動]「知る；認識  
 する」(不定法能相現在) 96-6 erat の主  
 語。

unde, sed audita est : “quid, Agenore nate, peremptum  
serpentem spectas? et tu spectabere serpens.”  
ille diu pavidus pariter cum mente colorem  
perdiderat, gelidoque comae terrore rigeabant : 100  
ecce viri fau-trix superas delapsa per auras  
Pallas adest motaeque iubet supponere terrae  
vipereos dentes, populi incrementa futuri.

## 97

- 1 unde [疑] 「どこから」 96-7 cognoscere の目的語。
- 2 sed [接] 「しかし; ~ではなくて」
- 3・4 audita est < audio [動] 「聞く; 聞き入れる」(直説法所相三人称単数完了過去) 主述部。96-1 vox を受ける。
- 5 quid [疑] 「どんな点で、どれ程; 何故」
- 6 Agenore < Agenor [名] m. 「アゲノル」(単数奪格) 97-7 nate を修飾。
- 7 nate < natus [形] 「生れた; <名> 息子」(男性単数呼格) 名詞的用法。
- 8 peremptum < perimo [動] 「全滅(絶滅) させる、妨害する; 殺す」完了分詞(男性単数対格)。98-1 serpentem を修飾。

## 98

- 1 serpentem < serpens [名] m.f. 「蛇; 蛇座」(単数対格) 98-2 spectas の目的語。
- 2 spectas < specto [動] 「見る、観察する」(直説法能相三人称単数現在) 主述部。
- 3 et [副] 「~もまた、~さえも」 98-4 tu を修飾。
- 4 tu [代] 「あなた」(単数主格) 98-5 spectabere の主語。
- 5 spectabere (= spectaberis) < specto 98-2 参照(直説法所相二人称単数未来)。
- 6 serpens 98-1 参照(単数主格)。98-4 tu と同格。叙述的用法。

## 99

- 1 ille [代] 「あれ、それ; 彼(彼女)」(男性単数主格) 97-6・7 Agenore nate を指す。100-1 perdiderat の主語。

- 2 diu [副] 「長い間」 100-1 perdiderat を修飾。
- 3 pavidus [形] 「震える、臆病な」(男性単数主格) 99-1 ille に一致。叙述的用法。
- 4 pariter [副] 「等しく; 同時に」 99-5 cum と共に 99-7 colorem を修飾。
- 5 cum [前] 「~と共に; ~を伴って; ~で」奪格支配(99-6 mente)。
- 6 mente < mens [名] f. 「心、精神; 知性」(単数奪格)
- 7 colorem < color [名] m. 「色、色合い」(単数対格) 100-1 perdiderat の目的語。

## 100

- 1 perdiderat < perdo [動] 「破壊する、浪費する; 喪失する」(直説法能相三人称単数全分過去)
- 2 gelidoque (= gelido + que) < gelidus [形] 「極寒の、凍てつく」(男性単数奪格) 100-4 terrore を修飾。
- 3 comae < coma [名] f. 「毛髪」(複数主格) 100-5 rigeabant の主語。
- 4 terrore < terror [名] m. 「恐怖」(単数奪格) 100-5 rigeabant を修飾。
- 5 rigeabant < rigeo [動] 「硬直する; 逆立つ」(直説法能相三人称複数不完了過去)

whence, but (it) was heard: “Wherefore, Agenor’s son, (art thou) staring <the>  
slain serpent? Thou too (shalt be) stared (as) <a> serpent.”  
(Being) afraid, he (had) lost <his> colour together with <his> mind  
long, and (with) freezing terror <his> hair stiffened:  
Behold, (having) descended through <the> upper air, Pallas <the> warrior’s  
patroness stood by and ordered (to) sow <the> viper’s teeth,  
germs (of) <a> future people, (in) <the> tilled earth.

## 101

- 1 ecce [副] 「見よ、そら！」
- 2 viri<vir [名] m. 「(成人)男性；夫」(男性属格) 101-3 fau-trix を修飾。\*「戦士」の謂。
- 3 fau-trix [名] f. 「守護(擁護)する女」(単数主格) 102-1 Pallas と同格。☆パラス・アテナ女神は戦の守護神。
- 4 superas<superus [形] 「上方の、より高い；〈名〉天上の神々」(女性複数対格) 101-7 auras を修飾。
- 5 delapsa<delabor [所動] 「落ちる、降りる；下降する」完了分詞(女性単数主格)。102-1 Pallas に一致。叙述的用法。
- 6 per [前] 「～を横切って；～を通して；～によって」対格支配(101-7 auras)。101-5 delapsa を修飾。
- 7 auras<aura [名] f. 「息吹、風；大気」(複数対格)

## 102

- 1 Pallas [名] f. 「パラス」(単数主格) 102-2-4 adest, iubet の主語。☆アテナ女神(ローマ神話のミネルヴァ)の呼称。
- 2 adest<adsum [動] 「側にいる；援助する」(直説法三人称単数現在)
- 3 motaeque (= motae + que)<moveo [動] 「動かす；動揺(感動)させる」完了分詞(女性単数与格)。102-6 terrae を修飾。\*「掘り起こす」の謂。
- 4 iubet<iubeo [動] 「命ずる」(直説法能相三人称単数現在)
- 5 supponere<suppono [動] 「下に置く；

代替させる」(不定法能相現在) 102-4 iubet の目的語。\*「播く」の謂。

- 6 terrae<terra [名] f. 「大地、陸地」(単数与格) 102-5 supponere を修飾。

## 103

- 1 vipereos<vipereus [形] 「蛇の」(男性複数対格) 103-2 dentes を修飾。
- 2 dentes<dens [名] m. 「歯」(複数対格) 102-5 supponere の目的語。
- 3 populi<populus [名] m. 「民族；人民；市民」(単数属格) 103-4 incrementa を修飾。
- 4 incrementa<incrementum [名] n. 「増加；追加」(複数対格) 103-2 dentes と同格。\*「(～に)生長するもの」の謂。
- 5 futuri<futurus [形] 「将来の；〈名〉未来」(男性単数属格) 103-3 populi を修飾。

paret et, ut presso sulcum patefecit aratro, spargit humi iussos, mortalia semina, dentes.	105
inde (fide maius) glaebae coepere moveri, primaque de sulcis acies adparuit hastae, tegmina mox capitum picto nutantia cono, mox umeri pectusque onerataque brachia telis exsistunt, crescitque seges clipeata virorum :	110

## 104

- 1 paret<paro [動]「準備する、手配する；意図する」(直説法能相三人称単数現在) 104-6/ 105-1 patefecit, spargit と共に主述部。99-1 ille を受ける。
- 2 et [接]「そして、また」
- 3 ut [関副]「～した時、～するや否や；(丁度)～するように」
- 4 presso<premo [動]「押える；(～に)位置する；(荷を)負わせる；強要する」完了分詞(中性単数奪格)。104-7 aratro を修飾。
- 5 sulcum<sulcus [名] m.「畝；溝」(単数対格) 104-6 patefecit の目的語。
- 6 patefecit<patefacio [動]「開く；暴く」(直説法能相三人称単数完了過去) \*「掘る」の謂。
- 7 aratro<aratrum [名] n.「鋤」(単数奪格) 104-6 patefecit を修飾。

## 105

- 1 spargit<spargo [動]「撒く；鑿める」(直説法能相三人称単数現在)
- 2 humi<humus [名] m.「大地、地面；国」(単数地格) 105-1 spargit を修飾。\*数少ない普通名詞の地格の例。他に domi (= at home), ruri (= in the country) などがあるのみ。
- 3 iussos<iubeo [動]「命ずる」完了分詞(男性複数対格)。105-6 dentes を修飾。
- 4 mortalia<mortalis [形]「死ぬ運命の；人間の；(名)人間」(中性複数対格) 105-5 semina を修飾。

- 5 semina<semen [名] n.「種；源」(複数対格) 105-6 dentes と同格。
- 6 dentes<dens [名] m.「齒」(複数対格) 105-1 spargit の目的語。

## 106

- 1 inde [副]「そこから；それから；その後」 106-5 coepere を修飾。
- 2 fide<fides [名] f.「信用；忠誠；保証」(単数奪格) 106-3 maius を修飾。\*fide maius = mightier (than) veracity : i.e. beyond belief
- 3 maius<magnus [形]「大きい；多い；偉大な」比較級(中性単数主格)。挿入句。
- 4 glaebae<glaeba [名] f.「土塊、土；土地」(複数主格) 106-5 coepere の主語。
- 5 coepere (= coeperunt)<coepio [動]「始める；始まる」(直説法能相三人称複数完了過去) \*86-1 参照。
- 6 moveri<moveo [動]「動かす；動揺(感動)させる」(不定法所相現在) 106-5 coepere の目的語。

(He) prepared and, when (he) made <a> furrow (with) <a> pressed plough,  
 (he) scattered <the> ordered teeth, mortal seeds, (on) <the> ground.  
 Thereupon—beyond belief—clods began (to be) rocked,  
 and primarily pikes (of) spears appeared from <the> furrow;  
 then covers (of) heads nodding (with) <their> decorated crests,  
 then shoulders and breasts and arms burdened (with) <the> shafts  
 emerged, and <a> shield-bearing crop (of) warriors grew:

107

- 1 *primaque* (= *prima* + *que*) <*primus* [形]「最初の；第一の」(女性単数主格) 107-4 *acies* に一致。叙述的用法。\* 108-2/ 109-1 *mox* と呼応する。
- 2 *de* [前]「～から；～中に；～故に」奪格支配(107-3 *sulcis*)。107-5 *adparuit* を修飾。
- 3 *sulcis* 104-5 参照(複數奪格)。
- 4 *acies* [名] f.「先端；視線；戦列」(単数主格) 107-5 *adparuit* の主語。
- 5 *adparuit* <*adpareo* [動]「現れる；見える」(直説法能相三人称単数完了過去)
- 6 *hastae* <*hasta* [名] f.「杖；槍」(単数属格) 107-4 *acies* を修飾。

108

- 1 *tegmina* <*tegmen* (= *tegumen*) [名] n.「被い」(複數主格) 109-2・3・5 *umeri*, *pectus*, *bracchia* と共に 110-1 *existunt* の主語。
- 2 *mox* [副]「すぐに；やがて、後に」 109-1 *mox* と共に 110-1 *existunt* を修飾。
- 3 *capitum* <*caput* [名] n.「頭；頂上」(複數属格) 108-5 *nutantia* と共に 108-1 *tegmina* を修飾。
- 4 *picto* <*pictus* [形]「多色の；裝飾された」(男性単數奪格) 108-6 *cono* を修飾。
- 5 *nutantia* <*nuto* [動]「頷く；よろめく；躊躇する」現在分詞(中性複數主格)。
- 6 *cono* <*conus* [名] m.「円錐；(兜の)頂点」(単數奪格) 108-5 *nutantia* を修飾。☆飾りの付いた兜の天辺を指す。

109

- 1 *mox* 108-2 参照。
- 2 *umeri* <*umerus* [名] m.「上腕部、肩」(複數主格)
- 3 *pectusque* (= *pectus* + *que*) [名] n.「胸；心」(単數主格)
- 4 *onerataque* (= *onerata* + *que*) <*onero* [動]「(荷を)負わせる；圧迫する」完了分詞(中性複數主格)。109-5 *bracchia* を修飾。\* *onerata bracchia telis* = *arms burdened (with) <the> shafts* : i.e. *arms holding the shafts*
- 5 *bracchia* <*bracchium* [名] n.「前腕部；腕」(複數主格)
- 6 *telis* <*telum* [名] n.「矢、槍；武器；刀」(複數奪格) 109-4 *onerata* を修飾。

110

- 1 *existunt* <*exsisto* [動]「現れる；起きる」(直説法能相三人称複數現在)
- 2 *crescitque* (= *crescit* + *que*) <*creasco* [動]「生える；成長する、増大する；栄える」(直説法能相三人称単數現在)
- 3 *seges* [名] f.「穀物畑；作物；集団」(単數主格) 110-2 *crescit* の主語。
- 4 *clipeata* <*clipeatus* [形]「楯を持った」(女性単數主格) 110-5 *virorum* と共に 110-3 *seges* を修飾。転移修飾。\* *seges clipeata virorum* = <a> shield-bearing crop (of) warriors : i.e. *a crop of shield-bearing warriors*
- 5 *virorum* <*vir* [名] m.「(成人)男性；夫」(複數属格)

sic, ubi tolluntur festis aulaea theatri,  
 surgere signa solent primumque ostendere vultus,  
 cetera paulatim, placidoque educta tenore  
 tota patent imoque pedes in margine ponunt.

Territus hoste novo Cadmus capere arma parabat : 115  
 “ne cape!” de populo, quem terra creaverat, unus  
 exclamat “nec te civilibus insere bellis!”

## 111

- 1 sic [副]「このように；そのように；次のように」112-1 surgere を修飾。
- 2 ubi [関副]「～する場所；～する時」
- 3 tolluntur < tollo [動]「持ち上げる；受入れる；取り除く」(直説法所相三人称複数現在)
- 4 festis < festus [形]「祝日の、祝祭の、陽気な」(中性複数奪格) 111-6 theatri を修飾。
- 5 aulaea < aulaeum [名] n.「幕」(複数主格) 111-3 tolluntur の主語。☆古代ローマの劇場では、幕は開演の時に下げられ、終演の際に引き上げられたので、緞帳に描かれた絵姿は上部から起き上がるように現れた。
- 6 theatri < theatrum [名] n.「劇場；観客」(複数奪格) 111-3 tolluntur を修飾。

## 112

- 1 surgere < surgo [動]「起き上がる；上る」(不定法能相現在) 112-5 ostendere と共に 112-3 solent の補語。
- 2 signa < signum [名] n.「印；軍旗；合図；像」(複数主格) 112-3 solent の主語。
- 3 solent < soleo [動]「～し慣れている、～する習慣である」(直説法三人称複数現在) \*不定法を伴う。
- 4 primumque (= primum + que) [副]「最初に；初めて」113-2 paulatim と共に 112-5 ostendere を修飾。
- 5 ostendere < ostendo [動]「見せる；誇示する」(不定法能相現在)

- 6 vultus < vultus [名] m.「表情、容貌；外観」(複数対格) 113-1 cetera と共に 112-5 ostendere の目的語。

## 113

- 1 cetera < ceterus [形]「他の、残りの；〈名〉残り」(中性複数対格) 名詞的用法。\*112-2 signa を受ける。114-1 tota も同断。
- 2 paulatim [副]「徐々に、次第に」
- 3 placidoque (= placido + que) < placidus [形]「穏やかな」(男性単数奪格) 113-5 tenore を修飾。
- 4 educta < educo [動]「引き出す；育てる」完了分詞(中性複数主格)。114-1 tota を修飾。叙述的用法。
- 5 tenore < tenor [名] m.「継続；進路」(単数奪格) 113-4 educta を修飾。

## 114

- 1 tota < totus [形]「全ての、～全体」(中性複数主格) 名詞的用法。114-2-7 patent, ponunt の主語。
- 2 patent < pateo [動]「開いている；広がる」(直説法能相三人称複数現在)
- 3 imoque (= imo + que) < imus [形]「最も深い(低い)；〈名〉底、深淵」(男性単数奪格) 114-6 margine を修飾。
- 4 pedes < pes [名] m.「足」(複数対格) 114-7 ponunt の目的語。
- 5 in [前]「～で(に)、～の中(上)で」奪格支配(114-6 margine)。114-7 ponunt を修飾。



likewise, when curtains (are) hoisted in festive theatres,  
 <the> figures are wont (to) rise and show primarily <their> visages, <and>  
 <the> rest gradually, and <the> whole (figures), extended (in) placid  
 motion, appear and place <their> feet on <the> lowest margin.

Terrified (by) <the> new enemy, Cadmus (was) preparing (to) take arms:  
 “Never take <them>!” one of <the> people whom <the> earth created  
 exclaims: “Nor involve thyself (in) <our> civil battle!”

- 6 margine<margo [名] m.「縁、端」(単数奪格) 目的語。
- 7 ponunt<pono [動]「置く、据える」(直説法能相三人称複数現在) - 6 terra [名] f.「大地、陸地」(単数主格) 116-7 creaverat の主語。
- 115 - 7 creaverat<creo [動]「生み出す」(直説法能相三人称単数全分過去)
- 1 Territus<terreo [動]「恐れさせる、脅えさせる」完了分詞(男性単数主格)。 - 8 unus [数]「一つ(の); 同一の」(男性単数主格) 名詞的用法。117-1 exclamat の主語。
- 115-4 Cadmus を修飾。叙述の用法。
- 2 hoste<hostis [名] m.f.「見知らぬ人; 敵」(単数奪格) 115-1 Territus を修飾。 117
- 3 novo<novus [形]「新しい、新鮮な、若い」(男性単数奪格) 115-2 hoste を修飾。 - 1 exclamat<exclamo [動]「叫ぶ」(直説法能相三人称単数現在)
- 4 Cadmus [名] m.「カドムス」(単数主格) 115-7 parabat の主語。 - 2 nec [接]「また～ない、～もない」
- 5 capere<capio [動]「掴む; 捉える; 獲得する」(不定法能相現在) 115-7 parabat の目的語。 - 3 te<tu [代]「あなた」(単数対格) 117-5 insere の目的語。
- 6 arma<arma [名] n.pl.「道具; 甲冑; 武器」(複数対格) 115-5 capere の目的語。 - 4 civilibus<civilis [形]「市民の; 公の」(中性複数与格) 117-6 bellis を修飾。 \*「仲間内の」の謂。
- 7 parabat<paro [動]「準備する、手配する; 意図する」(直説法能相三人称単数不完了過去) \*不定法を伴う。 - 5 insere<inero [動]「差し込む、突き刺す」(命令法能相二人称単数現在) \*「巻き込む」の謂。
- 116 - 6 bellis<bellum [名] n.「戦」(複数与格) 117-5 insere を修飾。
- 1 ne [副]「～ない」 116-2 cape を修飾。
- 2 cape<capio 115-5 参照(命令法能相二人称単数現在)。
- 3 de [前]「～から; ～中に; ～故に」奪格支配(116-4 populo)。 116-8 unus を修飾。
- 4 populo<populus [名] m.「民族; 人民; 市民」(単数奪格)
- 5 quem<qui [関代] 男性単数対格。先行詞は 116-4 populo。 116-7 creaverat の

atque ita terrigenis rigido de fratribus unum  
 comminus ense ferit, iaculo cadit eminus ipse ;  
 hunc quoque qui leto dederat, non longius illo 120  
 vivit et exspirat, modo quas acceperat auras,  
 exemploque pari furit omnis turba, suoque  
 Marte cadunt subiti per mutua vulnera fratres.

## 118

- 1 atque [接] 「そして、また」
- 2 ita [副] 「このように；次のように」  
\*atque ita = and thus
- 3 terrigenis < terrigena [形] 「大地から生れた」(男性複数奪格) 118-6 fratribus を修飾。\*名詞としている辞書も多い。
- 4 rigido < rigidus [形] 「硬い；厳格な」(男性単数奪格) 119-2 ense を修飾。
- 5 de [前] 「～から；～中に；～故に」奪格支配(118-6 fratribus)。118-7 unum を修飾。
- 6 fratribus < frater [名] m. 「兄弟；味方」(複数奪格)
- 7 unum < unus [数] 「一つ(の)；同一の」(男性単数対格) 名詞的用法。119-3 ferit の目的語。

## 119

- 1 comminus [副] 「近接して」 119-2 ense と共に 119-3 ferit を修飾。\*「接近戦で」の謂。119-6 eminus と呼応する。
- 2 ense < ensis [名] m. 「両刃の剣、刀」(単数奪格)
- 3 ferit < ferio [動] 「打つ；打ち殺す、殺す」(直説法能相三人称単数現在) 119-5 cadit と共に主述部。116-8 unum を受ける。
- 4 iaculo < iaculum [名] n. 「投げ矢、投げ槍」(単数奪格) 119-6 eminus と共に 119-5 cadit を修飾。\*iaculo eminus = (by) <a> javelin from afar
- 5 cadit < cado [動] 「落ちる；倒れる；死ぬ」(直説法能相三人称単数現在)

- 6 eminus [副] 「離れて」
- 7 ipse [代] 「～自身」(男性単数主格) 116-8 unus に一致。叙述的用法。

## 120

- 1 hunc < hic [代] 「これ、この人；次のこと」(男性単数対格) 120-8 illo と共に 116-8 unus を指す。120-5 dederat の目的語。
- 2 quoque [副] 「～もまた、同様に」 120-3 qui を強調する。
- 3 qui [関代] 男性単数主格。先行詞を含む複合用法。120-5 dederat 及び 121-1-3 vivit, exspirat の主語となる。
- 4 leto < letum [名] n. 「死；破滅」(単数与格) 120-5 dederat の間接目的語。
- 5 dederat < do [動] 「与える、為す；認める」(直説法能相三人称単数全分過去)
- 6 non [副] 「(全然)～ない」 120-7 longius と共に 121-1 vivit を修飾。
- 7 longius < longe [副] 「遠くに；長く」比較級。
- 8 illo < ille [代] 「あれ、それ；彼(彼女)」(男性単数奪格) 120-7 longius を修飾。

**And thus (he) fells one of <his> earthborn brothers  
hand-to-hand (with) <a> rigid sword; (he) himself falls (by) <a> javelin from afar;  
(he) who sent this (to) death, also (does) not live longer  
(than) him and expires <the> breath, which (he) just accepted,  
and (after) comparable examples all <the> throng rages, and (in) their own  
Mars, sudden brothers fall by <their> mutual wounds.**

## 121

- 1 vivit<vivo [動]「生きる；生き残る；生活する」(直説法能相三人称単数現在)
- 2 et [接]「そして、また」
- 3 exspirat<exspiro [動]「吐き出す；死ぬ」(直説法能相三人称単数現在)
- 4 modo [副]「ただ；今、最近；すぐ」121-6 acceperat を修飾。
- 5 quas<qui 120-3 参照(女性複数対格)。先行詞は 121-7 auras。121-6 acceperat の目的語。
- 6 acceperat<accipio [動]「受け取る；受け入れる；歓迎する」(直説法能相三人称単数全分過去) 主述部。120-3 qui を受ける。
- 7 auras<aura [名] f.「息吹；風；大気」(複数対格) 121-3 exspirat の目的語。

## 122

- 1 exemproque (= exemplo + que)<exemplum [名] n.「見本；型；例」(単数奪格) 122-3 furit を修飾。
- 2 pari<par [形]「等しい；相応しい」(中性単数奪格) 122-1 exemplo を修飾。  
\*exemplo pari = (after) comparable examples
- 3 furit<furo [動]「怒り狂う」(直説法能相三人称単数現在)
- 4 omnis [形]「全ての、あらゆる」(女性単数主格) 122-5 turba を修飾。
- 5 turba [名] f.「混乱；群集；多数」(単数主格) 122-3 furit の主語。
- 6 suoque (= suo + que)<suus [代]「彼(ら)

の、彼女(ら)の、それ(ら)の」(男性単数奪格) 123-7 fratres を指す。123-1 Marte を修飾。

## 123

- 1 Marte<Mars [名] m.「マルス(軍神)；戦い」(単数奪格) 123-4 per と共に 123-2 cadunt を修飾。\*suo Marte = (in) their own Mars : i.e. in their own strife
- 2 cadunt<cado 119-5 参照(直説法能相三人称複数現在)。
- 3 subiti<subitus [形]「突然の、予期しない」(男性複数主格) 123-7 fratres を修飾。
- 4 per [前]「～を横切って；～を通して；～によって」対格支配(123-6 vulnera)。
- 5 mutua<mutuus [形]「借りた；相互の、交互の」(中性複数対格) 123-6 vulnera を修飾。
- 6 vulnera<vulnus [名] n.「傷；打撃；損害、災難」(複数対格)
- 7 fratres<frater 118-6 参照(複数主格)。123-2 cadunt の主語。

iamque brevis vitae spatium sortita iuventus  
 sanguineam tepido plangebatur pectore matrem, 125  
 quinque superstitibus, quorum fuit unus Echion.  
 is sua iecit humo monitu Tritonidis arma  
 fraternaeque fidem pacis petiitque deditque :  
 hos operis comites habuit Sidonius hospes,  
 cum posuit iussus Phoebis sortibus urbem. 130

## 124

- 1 iamque (= iam + que) [副] 「今;直前に; すぐ;既に」 125-3 plangebatur を修飾。
- 2 brevis < brevis [形] 「短い;小さい;低い;浅い」(中性単数対格) 124-3 vitae と共に 124-4 spatium を修飾。
- 3 vitae < vita [名] f. 「生命;生活;一生」(単数属格)
- 4 spatium < spatium [名] n. 「空間;距離;規模」(単数対格) 124-5 sortita の目的語。
- 5 sortita < sortior [所動] 「籤を引く;籤で決める;獲得する」完了分詞(女性単数主格)。124-6 iuventus を修飾。
- 6 iuventus [名] f. 「青年期;青年たち」(単数主格) 125-3 plangebatur の主語。

## 125

- 1 sanguineam < sanguineus [形] 「血の、血まみれの」(女性単数対格) 125-5 matrem を修飾。
- 2 tepido < tepidus [形] 「生温かい」(中性単数奪格) 125-4 pectore を修飾。
- 3 plangebatur < plango [動] 「打つ;嘆く」(直説法能相三人称単数完了過去)
- 4 pectore < pectus [名] n. 「胸;心」(単数奪格) 125-3 plangebatur を修飾。
- 5 matrem < mater [名] f. 「母」(単数対格) 125-3 plangebatur の目的語。\* 116-6 terra を指す。

## 126

- 1 quinque [数] 「五つ(の)」(無変化) 126-2 superstitibus を修飾。
- 2 superstitibus < superstes [形] 「立会う;

生き残った」(男性複数奪格) 名詞的用法。  
 ☆この五人の生存者は「播かれた者たち」(スパルトイ)と呼ばれる。彼らはカドムスと共にカドメイア(テーバエ)を建設した。

- 3 quorum < qui [関代] 男性複数属格。先行詞は 126-2 superstitibus。126-5 unus を修飾。
- 4 fuit < sum [動] 「～である;存在する」(直説法三人称単数完了過去)
- 5 unus [数] 「一つ(の);同一の」(男性単数主格) 名詞的用法。126-4 fuit の主語。
- 6 Echion [名] m. 「エキオン」(単数主格) 126-4 fuit の補語。☆「龍の息子」の謂で、スパルトイの一人。カドムスの娘アガウエと結婚し、ペンテウスの父となった。ペンテウスの物語は本巻 511 行以下で扱われている。

## 127

- 1 is [代] 「この人(これ)、彼(彼女)」(男性単数主格) 126-6 Echion を指す。127-3/128-4・5 iecit, petiit, dedit の主語。
- 2 sua < suus [代] 「彼(ら)の、彼女(ら)の、それ(ら)の」(中性複数対格) 127-7 arma を修飾。
- 3 iecit < iacio [動] 「投げる;設立する」(直説法能相三人称単数完了過去)
- 4 humo < humus [名] m. 「大地、地面;国」(単数奪格) 127-5 monitu と共に 127-3 iecit を修飾。
- 5 monitu < monitus [名] m. 「警告、戒め」(単数奪格)

(was) knocking <their> bloodstained mother (with) <their> warm breasts,  
 (with) five survivors, one (of) whom was Echion.  
 He flung his arms (to) <the> ground (by) Tritonian (goddess's) admonition  
 and both sought and gave <the> faith (for) fraternal peace:  
 these comrades, <the> Sidonian stranger had (for) <his> task,  
 when ordered (by) <the> Phoebian oracle, (he) built <his> city.

- 6 Tritonidis < Tritonis [形] 「トリトニス湖の；ミネルウァの」(女性単数属格) 名詞的用法。127-5 monitu を修飾。☆「トリトニス湖の女神」の謂で、ミネルウァ(102-1 Pallas) を指す。トリトニス湖は北アフリカにある湖。一説によると、ミネルウァはこの湖の近くで誕生したという。
  - 7 arma < arma [名] n.pl. 「道具；甲冑；武器」(複数対格) 127-3 iecit の目的語。
- 128
- 1 fraternaeque (= frater-nae + que) < frater-nus [形] 「兄弟の、兄弟らしい」(女性単数属格) 128-3 pacis を修飾。
  - 2 fidem < fides [名] f. 「信用；忠誠；保証」(単数対格) 128-4・5 petiitque deditque の目的語。\* fidem petiitque deditque = both sought and gave <the> faith
  - 3 pacis < pax [名] f. 「協定、和解；調和、平和」(単数属格) 128-2 fidem を修飾。
  - 4 petiitque (= petiit + que) < peto [動] 「目指す；攻撃する；懇請する；追求する」(直説法能相三人称単数完了過去)
  - 5 deditque (= dedit + que) < do [動] 「与える、為す；認める」(直説法能相三人称単数完了過去)
- 129
- 1 hos < hic [代] 「これ、この人；次のこと」(男性複数対格) 形容詞用法。129-2 operis と共に 129-3 comites を修飾。
  - 2 operis < opus [名] n. 「仕事、労働；作品；技巧」(単数属格)
- 3 comites < comes [名] m.f. 「仲間；従者」(複数対格) 129-4 habuit の目的語。
  - 4 habuit < habeo [動] 「持つ、所有する」(直説法能相三人称単数完了過去)
  - 5 Sidonius [形] 「シドンの；フェニキアの」(男性単数主格) 129-6 hospes を修飾。
  - 6 hospes [名] m. 「訪問者；接待主；見知らぬ人」(単数主格) 129-4 habuit の主語。  
\* 115-4 Cadmus を指す。
- 130
- 1 cum [接] 「～した時；～なので；～だけれども」
  - 2 posuit < pono [動] 「置く、据える」(直説法能相三人称単数完了過去) 主述部。129-6 hospes を受ける。\* 「建設する」の謂。
  - 3 iussus < iubeo [動] 「命ずる」完了分詞(男性単数主格)。129-6 hospes に一致。叙述的用法。
  - 4 Phoebis < Phoebus [形] 「ポエブス(アポロ)の」(女性複数奪格) 130-5 sortibus を修飾。
  - 5 sortibus < sors [名] f. 「籤；預言；運命」(複数奪格) 130-3 iussus を修飾。  
\* 8-3・4 Phoebi oracula を指す。
  - 6 urbem < urbs [名] f. 「(城壁で囲まれた)都市、町；ローマ」(単数対格) 130-2 posuit の目的語。\* 131-3 Thebae を指す。